
『正義の下に～私説 さるかに合戦～』

4E

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『正義の下に〜私説 さるかに合戦〜』

【Nコード】

N8589U

【作者名】

4E

【あらすじ】

800文字文学賞六月期投稿作品の二作目です。

他者のために振るう正義ってのは、実に甘美なんだろうな、と思います。

誰かのためってのは、自分のためだけに何かするよりもカタルシスが味わえますからね。

「母の敵を討つ手助けをしてほしい」

子蟹が仲間たちにそう持ちかけたことから始まった話し合いは、異様な盛り上がりを見せていた。

議題はただ一つ。いかに猿を殺すかである。

皆が皆、子蟹の敵討ちを我がことのように真剣に考えている。親愛なる友のため、義に従い悪を誅す。その崇高な行為は、まるで美酒のように甘美なのだろう。議論に熱を上げる皆の顔は、どこか恍惚としていた。

「……狂っている」

子蟹がぼそりと口にしたその呟きは、場の熱気にかき消された。

子蟹は考える。

自分は母を殺された。だから復讐をする。たとえそれが何も生み出さないと解していても、そうせすにはいられないのだ。

そう、これは極めて私的な報復行為だ。仲間たちに望んだのはあくまでも手助けでしかない。

「猿を討とう！」

話の輪から距離を置いた子蟹をよそに、皆が声を張り上げる。その言葉からは微塵の躊躇いも感じられない。

「悪に正義の鉄槌を！」

誰かが続けて叫んだ。それを聞いて子蟹は理解した。皆を酔わせている美酒の正体を。

その、美酒の名は、

「正義！」

また別の誰かが叫ぶ。

「正義！」

「正義！」

「正義！」

叫びは皆により繰り返される。その空間は、正義で溢れていた。彼らは、殺しを行おうとしている。正義の下に、自らとはなんら無関係であるにもかかわらず、嬉々として猿を殺そうとしている。それはまさしく狂気だった。

子蟹が口にしたように、彼らは狂っていた。正義に狂っていた。

やがて、子蟹は何かを振り切ったような表情を浮かべると、皆に合わせて叫んだ。

「悪に正義の鉄槌を！」

その言葉に、場の熱狂は最高潮を迎える。

自らを正義と信じて疑わない勇者たち。

悪を討つ大義に酔いしれる者たちによる狂乱の宴。

殺しという禁忌は、正義という名の免罪符の下に今、赦された。

正義を讃える声が響き渡る。子蟹も合わせて声を張り上げる。だが、熱のこもった声とは裏腹に、その目は、どこまでも、どこまでも冷ややかだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8589u/>

『正義の下に～私説 さるかに合戦～』

2011年10月8日15時49分発行